

# ヤンバルクイナ保全のための生態研究

## 公益財団法人 山階鳥類研究所

公益財団法人山階鳥類研究所は、鳥の研究を専門にしている研究機関です。希少鳥類の保護に役立つ研究のほか、渡り鳥の経路や、鳥インフルエンザに関わる調査など、幅広い領域で活動を行っています。

### 【活動背景】

ヤンバルクイナは1981年に沖縄本島北部で発見された国内唯一の飛べない鳥です。分布域が限定していることに加え、外来種のマングースやネコによる影響で個体数が減少し、絶滅が危惧されるようになりました。また本種が生息するやんばる地域が世界自然遺産に登録された際、ロードキル対策を強化するよう、世界自然保護連合（IUCN）から要請がありました。しかし、本種の生態に関してはいまだ謎に包まれた点が多く、より高度な対策を講じるためにも、一刻も早い生態解明が必要とされています。



### 【助成金の用途・活動結果】

当財団の助成金は、ヤンバルクイナの生態調査のための現地調査員の派遣や、モニタリングのための自動カメラを含む器具や備品購入費用に充てました。飼育個体の野外復帰実験では、野外放鳥個体同士が野外でペアを形成し、繁殖に成功したことがわかりました。さらに、個体の追跡によってヤンバルクイナの死因が詳細に判明したほか、飼育放鳥個体と野生個体の生存率の差がわかり、今後の野生復帰のための取り組みの向上に繋がりました。

### 【活動目的】

ヤンバルクイナの生態解明のため、飼育繁殖した野生復帰個体や野生個体に電波発信機を装着して追跡を行い、その生態と行動範囲を把握することが目的です。また、野外の繁殖巣をモニタリングし、繁殖中の天敵による影響や卵の孵化率、雛の生存、行動範囲などを把握・分析することも目的としています。



### 【団体からのメッセージ】

ヤンバルクイナの個体数や分布域はまだ回復していませんが、2023年沖縄県が名護市に設置した自動カメラにヤンバルクイナが写り、従来の分布域から5キロほど南でも生息が確認されました。ヤンバルクイナを絶滅の危機から救うためにはさらなる分布域の拡大が重要で、それに役立つ調査研究を進めたいと考えています。